

ジョブ・スクール

事業者向けサービス評価票 平成29年度分 まとめ

		はい	どちらとも いえない	いいえ	取組み状況
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令を遵守したスペースを確保しています。 (利用定員10名)
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・法令で必要とされる職員配置数に加え、児童指導員を1名以上配置しています。 ・現在は社会福祉士2名、児童指導員3名、障害福祉サービス経験3年以上1名が在籍しています。 ・毎月の事業所内会議や法人内・外での研修等の受講により、専門性の向上を目指しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・2階にある事業所の為、階段を通過する必要があります。エレベーターの設置はありません。階段の手すり・フロアの段差なし等の配慮はしてあります。 ・現段階では、自力で階段を登れない方の申込みはありませんが、希望があった際は、アセスメントや実習で方向性を検討していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・事業所内(パート含む)会議を毎月開催し、PDCAサイクルを取り入れ、業務改善に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価表を活用して、業務改善につなげています。
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・「保護者向けサービス評価票」は、まとめを保護者へ配布しています。 ・「保護者向けサービス評価票」「事業者向けサービス評価票」は、ホームページで公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在は、保護者・事業者の二者評価ですが、今後必要に応じて検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月の事業所内会議や法人内・外での研修等の受講により、専門性の向上を目指しています。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・統一したアセスメントシートの使用や保護者等との面談・日常のご本人の様子などを分析し、事業所内会議での検討を通じて、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎月の事業所内会議等を利用して、職員で立案しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・就労トレーニングは、半年程度単位で新しいものを追加しています。新しい技術の習得や経験値・自己肯定感を育てていけるようにしています。 ・土曜日、長期休暇にも多様なプログラムを準備しています。 (パソコン・ビジネスナー・外出(電車や車で)・調理・イベントなど)
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントをもとに、長期目標・短期目標を設定し、更に項目ごとに具体的な目標を示した放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・口頭 又は 共通のスケジュール表等を活用し、当日の活動の役割分担や送迎、注意事項等確認しています。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後は、各自送迎の業務があつたり帰社したりするので、全員集まるとの打ち合わせは出来ないことが多いです。支援終了後の振り返りは、出来る職員で行ったり、その都度又は翌日に実施しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・振り返りシートや職員からのコメント・日々の記録を活用して、情報共有と支援の検証・改善を実施しています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・6ヶ月に1回以上モニタリングを実施し、計画の見直しの必要性を判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		・子ども一人一人の放課後等デイサービス計画に沿って、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供などの支援を実施しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、日常の支援を通じて、ふさわしい者が参加しています。また、会議の内容を事業所内で共有しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・子どもに必要な支援を行えるように、学校の担任との情報共有や、必要時には会議等を実施しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・現在、医療ケアが必要な子どもの受け入れはありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・必要時には、情報共有と相互理解に努めていきます。 ・放課後等デイサービス事業所との連携は、必要時には実施しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等する等しているか	○		・ご家族の同意を得て、当事業所での支援内容の情報提供をする体制はできています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・主に、瀬戸市・尾張旭市の児童発達支援センターと連携し、助言や研修を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・現在、交流の機会はありません。必要に応じて今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・瀬戸市の自立支援協議会(こども未来部会)に参加しています。また、自立支援協議会の研修等にも積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・利用日に毎回、振り返り用紙を活用して、当日のご本人の活動内容や様子をお伝えしています。また、送迎時や電話連絡でも情報共有を実施しています。 ・モニタリングやご家族との懇談の中で、状況や課題について確認をしています。
	保護者への説明責任等	29	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	
30		運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に、運営規定や重要事項説明書を用いて丁寧に説明を実施しています。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・随時、必要な助言と支援を実施しています。また、モニタリング時には、必ず保護者との面談を実施しています。 ・相談の内容によっては、対応して頂ける機関をご紹介しますこともあります。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・職員と保護者の面談はありますが、保護者会の設置はありません。 ・見学会・実習・オープンスクール(活動時間の見学開放)にて、一緒にされた保護者同士の交流があります。 ・今後は、必要に応じて検討していきます。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合について迅速かつ適切に対応しているか	○		・事業所内に意見箱を設置してあり、事業所内で、受付者・責任者を選任していません。第三者委員を設置もしてあります。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・ホームページには、事業所の基本情報・ジョブ・スクール通信(毎月発行)・活動プログラム・評価・お知らせ事項等を掲載しています。 ・ホームページは原則、毎月更新しています。(ジョブ・スクール通信と、月単位のカリキュラムを更新)
35		個人情報に十分注意しているか	○		・個人情報記載されたものは、鍵つきのキャビネットにて保管しています。職員は「機密保持誓約書」を提出しています。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもへは、手順書やスケジュール表を用いて説明しています。保護者へは、書類や電話・面談などで情報を伝達しています。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・子どもと保護者は招待していますが、地域住民の方は参加されていません。 ・本年度は、地域の施設で清掃体験を実施して、施設の方や地域のお客様との交流は図りました。

	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルは作成済みで、毎年度更新しています。職員は事業所会議で周知しています。保護者への周知方法は、要検討。 ・「利用者引継ぎカード」を事業所提出用と自宅保管用を作成し保護者へも配布しています。 ・感染症マニュアルは必要時に事業所内に掲示しています。
非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・2回/1年の避難訓練を実施しています。 ・29年度は防災教育センターに行き、災害を実体験して、技能・知識を教えて頂きました。 ・2階から地上への避難梯子の使用について、職員間で定期的に確認していきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県主催やその他の研修に参加しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、放課後等デイサービス計画に記載し、保護者に了解を得ることを契約時に説明しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・現在までに、食物アレルギーで医師の指示書が必要な子どもの利用はありません。
		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例が発生した際には、報告書を作成しています。ヒヤリハットの書類は事務所内にて保管して、職員で共有しています。